



小郡市立小郡中学校 令和8年3月24日

小郡中学校だより 第257号

校長 山本 拓



学校教育目標 ～自ら学び 共に高め合う 心豊かでたくましい生徒の育成～

「Resilience (レジリエンス)」と「Agency(エージェンシー)」の二つの力

よりよい未来を思い描き、立てた計画が、想定外の出来事で実行できなくなったとき、私たちはどうすればよいのでしょうか。

この想定外の出来事をあらかじめ予測し、それを計画の中に入れておけば避けられたのかもしれませんが、そもそも未来を的確に予

想すること自体が難しいことです。それに加えて、現代は「先行き不透明な時代」と言われていて、未来が全く見えづらい現状です。このような時代を生きる子どもたちに、学校としてどのような力を育んでいくべきか、改めて考える必要があります。

その中で、今、特に大切にしたいと考えているのが「Resilience(レジリエンス)」と「Agency(エージェンシー)」の二つの力です。

「Resilience(レジリエンス)」とは、困難や失敗に直面したときに、そこから立ち直り、前を向いて進もうとする力のことです。学校生活の中でも、思うようにいかないことや、人との関わりの中で悩むことは少なくありません。そのような経験をとおして「もう一度やってみよう」「次はやり方を工夫してみよう」などと考えられる力を育てていく事が重要です。

一方「Agency(エージェンシー)」とは、自分で考え、選び、行動し、よりよい方向へと働きかけていこうとする力です。誰かに言われたからではなく、「自分はどうしたいのか」「どうすればよくなるのか」を考え、仲間とに行動する姿は、これからの社会において欠かせない力です。

これからの学校は、知識を身につけるだけでなく、こうした力を育む場でなければなりません。本校では、授業や学校行事、日々の生活の中で、子どもたちが自ら考え、挑戦し、時には失敗しながらも、再び立ち上がる経験を大切にしていきたいと考えています。

子どもたち一人一人が「自分には乗り越える力がある」「自分の行動で周りをよりよくできる」と実感できるよう、ご家庭や地域も一緒になって支えていくことが重要です。

本校は、これからも「Resilience(レジリエンス)」と「Agency(エージェンシー)」の二つの力の育成を意識して教育活動を進めていきたいと考えています。

レジリエンス



〈桜梅橙李 ～君だけの色で進め～〉 生徒総会が開催されました

生徒総会が、3月19日(木)に行われ、生徒会スローガンや専門委員会の活動目標・活動内容等が審議され、決定しました。また、各学級代表者による意見発表もあり、スローガンに賛成の立場で思いを述べてくれました。何より、みなさんの真剣な表情が見られました。

生徒会活動は、生徒のみなさんの学校生活をよりよく充実したものにするための自治活動です。生徒会拡大執行部だけの活動ではありません。生徒のみなさんの力なしでは、進まないし、生徒のみなさんの理解と協力があってこそ、よりよいものになっ



生徒総会の様子

ていくのです。ぜひ、小郡中学校の生徒会の一員であるという自覚と責任を持って、役割を果たせる人、みんなが心地よく生活できるために、一人一人がつながっていくことを大切にできる人になってくれることを期待しています。

生徒会スローガンは【桜梅橙李 ~君だけの色で進め~】に決まりました。このスローガンには、「自分らしさや個性を大切に、それぞれの特性を生かして生活していこう。」という思いが詰まっています。とても素敵なスローガンです。仲間とつながり、支えあいながら、信頼関係をさらに築き、生徒全員が安心して生活できる学校をつくってほしいと思います。

〈1, 2年生〉お別れ合唱会がありました

3月17日(火)に1, 2年生のお別れ合唱会がありました。

今の学級目標が達成できたかどうか、学級での仲間との生活を振り返り、次の学年に向けての決意を確認する場でもあります。短い練習時間ではありましたが、思いを込めた合唱を各クラスが披露してくれました。大変ご多用の中、たくさんの保護者の皆様に来ていただきました。ありがとうございました。来年度も小郡中学校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



お別れ合唱会の様子

レベルの高い“楽しみ”を

皆さんの学校生活は、楽しいですか。「楽(らく)」と「楽しい」は、漢字は同じでも意味が全く違います。

私は、部活の見送りや応援に行ったら、なるべく「楽しんでこい」と声をかけるようにしています。また、試合などが終わったときには、「楽しんだか?」と聞くようにしています。そんな時、笑顔で、「はい。」と答えてくれたときは、うれしくてたまりません。なぜなら、本当の楽しさを理解してくれているからです。

私は、皆さんには、レベルの高い楽しみを味わってもらいたいといつも思っています。本当の楽しさは、努力のあとに味わえるものです。例えば、「部活は、毎日きついことが多いけど、少しずつ上達し、強くなっていくことが楽しい。」また、「勉強するのは、面白くないけど、毎日机に向かって考えて分かるようになってたり、人に聞いて分からなかったところが分かってきたりして楽しい。」などがレベルの高い「楽しさ」だと思います。努力なしでは、本当の楽しさは味わえません。「楽しさ」は、人がつくってくれるものではなく、自分でつくるものです。

来年度、あなたも本当の「楽しさ」をつくってみませんか。